

卒業の日がまいりました。イソヒヨドリが美しい声で皆さんの入学を寿いだ、あの、入学式から3年。いよいよ山北高校から未来に向けて旅立ちの時を迎えます。

保護者の皆様にとりましてこの3年間は、様々な想いを胸に、お子様を見守られてきた年月と存じます。本日、お子様の卒業をともにお祝いできることを大変うれしく思うとともに、ご卒業を心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今日を迎えるにあたって皆さんをささえ続けてくれた方々を思い返してみませんか。教室で、グラウンドや体育館で、保健室で、図書室で校舎の内外で直接に皆さんを指導、支えてくださった方々。直接には接しなくとも、皆さんの学校生活が、安全によりよく過ごせるように事務業務を担ってくださった方々、施設を管理・整理・修繕してくださった方々、皆さんの心身の健康を支えてくださった方々。皆さんの未来探究の学びを支えてくださった山北町の方々。実は、教室や廊下に掲示してある山北町民カレンダーの今日の欄には山北高校卒業式、とあります。つまり今日の皆さんの卒業を町民のほとんどがご存じなのです。そのような県立高校は非常に稀です。そして、何より、皆さんの成長を願い、支え続けてくれたのはおうちの方々です。こうした非常に多くの方々の支えがあれば、こそ、今日この日です。もちろん、皆さん自身も誰かの支えとなっています。多くの支え合いの中で生きていく、これが人間の生き方です。

そしてもう一つ、思い返してほしいのはこの3年間の社会情勢です。皆さんが入学してから今日まで、国内外では本当に多くのことがありました。今年初めの自然災害、事故。国同士

の戦い。こうした中、私たちが本日、このように穏やかに式を挙行できることは大げさでなく奇跡であると実感します。だからこそ、この奇跡の一瞬を大切にしたいと考えます。

私たちが生きること、それは、支えあう人のなかで、この奇跡の一瞬一瞬が積み重ねられていくことにほかならないのです。この世界に必要なでない人はいません。通学路に咲くひともとのすみれにも役目があり、路傍の石さえも意味があります。まして人ならば。大切なのは、その役目、その意味に気づくかどうか。自分を含めて「人」を不要とか役に立たないとか、思っ
てほしくありません。この生きている奇跡の瞬間、必ず誰にも意味がある、その意味に気づく
かどうか大事、ということです。

今、世界は大きな変革期を迎え、国内も経済、医療・福祉、地域の課題などに対応できる能力が求められる時代となっています。AIも加速度的に進歩してこれらを使いこなす力も必要
となっていますが、本校の教育方針「着実に努力」はAIにはできない、だからこそ大切だ
と私は考えます。

皆さんが、この高校生活で身に着けたさまざまな力が、「未来を切り拓く力」となり、この
時代をよりよく生きていく力になると確信しています。どうぞ自信をもって進んで下さい。

最後になりましたが、これまで卒業生たちを支えていただきました皆様に、あらためて感
謝を申し上げます。その皆さますべての想いも込めて、学校を代表して本日卒業する皆さん
に改めて卒業のお祝いのことばを申し上げます。

卒業おめでとう。